

作品ID	書名	内容	所有	出版社
124	(1)まよい道	大江戸八百八町、下手人を追って東奔西走する同心たちだったが、人手が足りず、未解決事件は放置するしかない。そんな迷宮事件ばかり扱うはぐれ同心、角野忠兵衛。今日も忘れ去られた事件を解決しようと孤独な闘いを続けていた.....。		ベスト時代文庫
125	(2)晴れ女	殺伐としている世の中だからこそ.....人々は泣きたがっている。本書は、さまざまな未解決事件を追う“はぐれ同心”の姿を通し、現代人が忘れた心のぬくもりを描く、連作短編のヒューマン時代小説、好評の第2弾！		ベスト時代文庫
126	(3)縁切り橋	下谷広小路に店を構える薬種問屋の主人が、心の臓を一突きにされて殺された。その残忍な手口は一年前の、鍛冶職人の房蔵殺しと同じだった。くらがりになった迷宮入りになった事件ばかりをあつかう南町奉行所の永尋書留役同心・角野忠兵衛は、一年前の事件の洗い直しを始めるが、そこには思いもよらぬ真実が隠されていた.....。涙に煙る吾妻橋に、男と女の哀しい想いが吹き渡る！ 書下ろし好評		ベスト時代文庫
127	(4)無念坂	吾嬬権現の蓮池に浮いた男。京橋に店		ベスト時代文庫
128	(5)まよい道	仕官を望む浪人たちの弱みにつけ込んで、なけなしの金を騙りとる口入れ屋『銀杏屋』の悪事を暴く、南町奉行所永尋書留役、通称くらがり同心・角野忠兵衛の奮闘ぶりを描く、好評書き下ろしシリーズ第五弾！		ベスト時代文庫
129	(6)見返り峠	ご赦免で江戸に戻っていた遊び人の鎌吉が辻斬りに遭い、殺された。鎌吉の前歴もあり、奉行所の調べはおざなりで、事件は迷宮入りくらがりになった。しかし、思わぬ証人が現われた。鎌吉の妹から兄を逆恨みしていた女がいたと告げられたのである。窓際同心の人情味溢れる活躍を描くシリーズ第		ベスト時代文庫